



No.357

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

米軍支援の

国民総動員法阻止

戦争許さぬ50万署名へ



2月5日夜、一万人が歩いたピースキャンドルナイト(東京)

主 な 記 事

総力を挙げて5・18国会請願成功へ	2
いきいき各地の女性部活動	3
「国民保護」の名で国民弾圧	4
顕彰碑 今野大力	5
時の焦点 「3・15」4・16事件	5
抵抗の群像 不屈に一筋の道を進んだ五味宣雄さん	6
同盟歌壇 碓田のぼる選	7
映画/山田洋次監督「隠し剣 鬼の爪」	7
第8回国連ツアー/事務局日誌ほか	7

いま三・二〇国際反戦デーへ全国百万の決起をめざし、沖縄から出兵の町旭川まで全国各地でイラク派兵反対、自衛隊は撤退せよ、憲法を守れのデモ行進、宣伝活動がつづいています。

小泉内閣は、国民の声を無視し、陸海空の自衛隊の派兵にふみ切り、さらに、有事関連法案と国民保護法案を三月、国会に提出すると発表しました。まさに「米軍戦争支援の国民総動員法」であり「海外派兵の国」づくりに着手したものです。これは侵略戦争の痛苦の反省にたち、二度と戦争をしない憲法をもつ日本の戦後歴史の転換点にたつものです。

いまこそ米軍の戦争支援を阻み、改憲策動阻止の世論をつくるのがいそがれています。この情勢の下で同盟の役割は大きく、五〇万署名の推進は、世論形成に重要な役割を果します。今日ほど小林多喜二など治安維持法犠牲者の歴史と労苦を生かすときはありません。国民の平和への願い「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」旗を高くかかげ、五・一八国会請願を成功させましよう。

(中央本部副会長・高嶋信敏)

総力をあげて5・18国会請願成功へ

いよいよ国会請願日が五月十八日と決まりました。

全国の同盟は、昨年末五〇万署名の目標達成にむけて、努力を続けてきました。しかし、一月末現在では、目標の三〇%余り、一五万二千余に止まっています。

都道府県別の到達状況を見ると、秋田が九一%、岩手、青森、高知が五〇%台、茨城、千葉、山形、長野、新潟、鳥取、福岡、沖縄が四〇%台、神奈川、埼玉、北海道、京都、島根、熊本が三〇%台で三〇%以下が二九都道府県と立ちおくられています。

国会請願まであと二カ月、全都道府県が自主目標の総達成をめざし、総力をあげて奮闘することが必要です。

目標を達成した秋田市の教訓

人口三〇万の秋田市では、署名目標一万四千を達成、さらに一千増へと奮闘しています。

住民比四%の個人署名を達成し市内三六五団体から団体署名を集約している同盟秋田支部の活動か

ら学ぶことが重要です。

(1) 支部の三役会議、理事会を毎月必ず開催し、情勢討議と学習をすすめる、毎月の目標と活動を点検総括して署名を推進している。

(2) 毎月支部ニュースを出し、理事が十名から十五名の会員を分担して、手配りし、必ず声をかけている。

(3) 消費税、憲法、イラク派兵反対などの署名とあわせて国賠署名をすすめている。

(4) 労働組合、民主団体、お寺、教会など四百団体に申し入れ、八

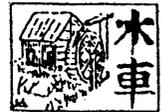
月から十二月までに集約訪問を終えて三六五の団体署名を集め、かなりの個人署名もあわせて集約している。

(5) 秋田は、冬は雪と寒さで活動も困難になるので、十二月までには目標を達成しようとして、昨年六月からとりくみ、半年余りでやりとげた、などです。

安破棄中央実行委員会は三・二〇国際反戦行動に呼応してイラクからの撤兵を要求する百万人の反戦集会と「テモを呼びかけています。いまこそ同盟出番のときです。五・一八国会請願成功めざし、全同盟会員が署名を力強く訴えましょう。(斉藤)

各地の行事予定

3 / 13 青森	3・15 / 4・16大弾圧記念集会
3 / 13 岡山	春を呼ぶ岡山のつどい
3 / 14 東京	市川正一墓前祭
3 / 14 北海道	3・15大弾圧記念集会
3 / 14 岐阜	3・15大弾圧記念学習会
3 / 14 福岡	2・11事件記念集会
3 / 15 石川	3・15大弾圧記念解放戦士碑参拝
3 / 20 北海道	釧路多喜二を語る集い
3 / 27 長野	多喜二と戦争の時代
3 / 28 高知	県女性部総会
4 / 4 7 東京	沖縄の戦跡と基地巡り
4 / 16 神奈川	野呂栄太郎の不屈の生涯
4 / 16 福井	4・16のつどい
4 / 16 鳥取	境港支部結成と4・16記念集会
4 / 17 和歌山	北川宗蔵を学ぶ偲ぶ会
4 / 17 18 石川	3 / 15 / 4・16 大弾圧記念能登方面「不屈」ツアー
5 / 8 埼玉	山宣・野呂と現代
5 / 8 9	鹿児島 九州沖縄ブロック女性交流集会



木車

さる二月五日の夜、寒風ふきすさぶながら東京明治公園に集まった五千人が、手に手製の韓国式キヤンドルやペンライトなど様々な光をかかげ、市ヶ谷の防衛庁をめざして歩きはじめた。隊列は沿道からぞくぞくと参加する人々でふくれあがり二倍の一人に達した。隊列は信濃町の創価学会本部周辺あたりで、ノーウオー、ノーブツシュ、アイラブピースのシュプレヒコールを一段と高くはりあげた。ピース

キャンドル ナイトと名付けられたこのとりくみは新宿区内の平和諸団体が呼びかけたものだったが、おりからのイラク派兵強行の動きに対する国民の怒りを反映し、インターネットなどを通じて、たちまちのうちに若者や労働者、婦人団体、業者などあらゆる階層に浸透し反響しあつた。このとりくみの成功を、来る三月二〇日の国際的な反戦行動につなげよう。日本でも数百万人規模の反戦の波を起こさせることを世界の反戦陣営に伝えたい

各地で同盟女性部がいきいきと活動しています。不屈県版最近号から紹介します。

記念講演と独唱など

【東京都本部】都女性部は二月九日、「春をよぶつどい」を開催。(写真)記念講演「軍隊のないコスタリカ」池田眞規(反核法協副会長)、「アジアの平和と中国」金照徳(中国社会科学学院教授)の両氏を迎え国際問題を学びました。アルト歌手の福田由美子さんの「春の歌」のほか、遺族の上甲まち子さん(青年劇場俳優)の「憲法九条」朗読、同じく犠牲者家族の四津谷伸子さ



らによるパネルシアター「一本の鉛筆」上映など。参加者は六五人。一人で六百の署名に学ぶ

ら、日本の侵略戦争によって引き起こされた当時の悲惨な母と四人の子どもたちの話を涙を流して聞き入り、平和憲法を守り、イラク派兵反対の決意を固めました。この学習会で八月の国連要請ツアー参加者が一人増え九人となりました。うち七人が女性。

【大阪府本部】毎月第一土曜日に女性委員会を開いています。二月七日の委員会では、署名が立ち遅れているなかで、一人で六〇〇近く集めている都島の山口ちとせさんに続こうと話し合い、また当面の二・二一「早春のつどい」と三

【高知県本部】不屈県版に「女性のページ」。二月号では七月の参議院選挙を、イラク派兵強行、増税、改憲策動など、戦前の暗黒時代への逆流ととらえ、五〇万署名で対話を重ねながら女性が先頭に選挙勝利のための行動に立ち上がるつ、と呼びかけています。

中央女性部長を招いて

【兵庫県本部】二月一四日、神戸海員会館で開かれた「女性のつどい」に一四名が参加し、小林初江中央女性部長から話しを聞きました。小林さんは元大阪府議。全国女性交流集会や国連要請の話、また若い教師時代に、軍国主義教育から戦後の民主教育に変わり、切替えが出来ずに教員を辞職した。率直な話を聞き有意義な時間を過ごしました。つどいには共産党参議院議員の大沢たつみさんもかけつけ、全国各地のイラク派兵阻止のたたかいや情勢を報告しました。

【兵庫県本部】二月一四日、神戸海員会館で開かれた「女性のつどい」に一四名が参加し、小林初江中央女性部長から話しを聞きました。小林さんは元大阪府議。全国女性交流集会や国連要請の話、また若い教師時代に、軍国主義教育から戦後の民主教育に変わり、切替えが出来ずに教員を辞職した。率直な話を聞き有意義な時間を過ごしました。つどいには共産党参議院議員の大沢たつみさんもかけつけ、全国各地のイラク派兵阻止のたたかいや情勢を報告しました。

三月二八日に総会を開き全国交流集会の報告と今後のとりくみについて討議を深める予定。

いきいき女性部活動

泊まり込みで学習会

【九州沖縄ブロック】九州ブロック女性交流集会はこれまで大分県や沖縄県で開催されてきましたが今年五月八日に鹿児島県のホテル・レインボウ桜島で泊まり込みで開催されることになりました。目玉は、講師に元参議院議員の山中郁子さん(作家)を迎えての講演「宮本百合子と治安維持法」と、坂口真佐子新婦人県代表委員による「鹿児島が生んだ婦人解放運動の先駆者・同盟創立の提案者・勝目テルについて」のお話し。各県女性部の活動と今後の展望についておおいに語り合おうと今から盛り上がりつつあります。

各地で「春をよぶ集い」、学習会

二月二日に開催された女性部主催の「早春のつどい」には二四人が参加。関西勤労協の井上昌三講師から小林多喜二についての話を聞き、分かり易かったと好評。

残留孤児の話に涙

【福岡県本部】女性委員会は一月三十一日に「中国残留孤児」をテーマに三〇人の参加で学習会を開催。三三年ぶりに残留孤児の弟と再会した深谷節子県本部理事か

署名・参院選で先頭に立ち

【福岡県本部】女性委員会は一月三十一日に「中国残留孤児」をテーマに三〇人の参加で学習会を開催。三三年ぶりに残留孤児の弟と再会した深谷節子県本部理事か

「国民保護」の名で国民弾圧

小泉自公政権は、二月二十四日「国民保護法案」など有事関連七法案と三条約の概要を示し、三月上旬に閣議決定、今国会に提出することを決めました。

石破発言の狙い

これに先立つ今年一月五日、石破防衛庁長官は防衛庁の講堂に幹部ら約千名を集めた「年頭の辞」で、「今年には国民保護法制、この成立を図っていかねばなりません。この成立を見なければ、有事法制はほとんど機能しないと、言っても過言ではありません」と述べました。

有事関連七法案の内容については、二月二十五日付の各新聞に紹介されていますが、これは「米軍事行動円滑化」といった露骨な法案まで含まれているように、米軍支援のための措置をさらに徹底させるものです。

そしていったん「有事」となれ

ば、軍事が最優先となり、国民の権利は制限どころか押しつぶされてしまおうでしょう。

「国民保護」などと耳障りのよい言葉を使っていますが、その内容は政府の一方的な指示に従わなければ刑罰を科すという取締法なのです。

軍隊は国民を守らない

軍隊は決して一般国民を守るものではないことは、太平洋戦争末期の住民を邪魔もの扱いした沖縄戦、邦人を置き去りにして撤退した関東軍などが如実に示しています。また、米軍の本土上陸時には軍は沖縄戦同様、国民を捨て石とする驚くべき方針が決められていました。

「米軍の本土上陸作戦開始前に日本が降伏したので、本土決戦が行なわれなかったのは不幸中の幸いであったが、本土決戦にそなえた一九四五年四月二〇

日に軍が各部隊に配布した国土決戦教令には、『決戦間傷病者八後送セザルヲ本旨トス。負傷者二対スル最大ノ戦友道ハ速力ニ敵ヲ撃滅スルニ在ルヲ銘肝シ、敵撃滅ノ一途ニ邁進スルヲ要ス。戦友ノ看護、附添ハ之ヲ認メズ』という戦傷者見殺しの命令のほかに、『敵八住民、婦女、老幼ヲ先頭ニ立テテ前進シ我が戦意ノ消磨ヲ計ルコトアルベシ。斯カル場合我方同胞ハ己ガ生命ノ長キヲ希ハシヨリ八皇国ノ戦捷ヲ祈念シアルヲ信ジ、敵兵撃滅ニ躊躇スベカラズ』すなわち同胞の婦女老幼の射殺をもためらうなという命令までふくまれていたのである。(『岩波現代文庫、家永三郎著『太平洋戦争』より)

政府は当時の軍隊といまの自衛隊は違うというだろうけれども、自民党政府は戦後一貫して「侵略戦争」と認めず、日本の侵略を受けたアジア諸国の感情を踏みにじる歴代首相の「靖国神社」参拝を強行し、戦前と全く同様に天皇制を崇拜しています。

また、過去の悲惨な体験に基づいて、「子供達を二度と戦場に送らない!」と誓った教育基本法を無視して、子供達に「日の丸」「君が代」を強制している現状をみると、どう解釈してみても、このよな政府の指示で行動する自衛隊は権力の軍隊と言わざるを得ません。

また、罰則、規制等が施行されてくると、あの特高警察が残した、戦前と変わらない警察官僚の体質を考えると、国民弾圧に乱用されかねない危険を感じます。

主権者の意思を示そう

戦前の国民は、治安維持法、国家総動員法などにより知る権利を奪われ、庶民にとつては、政府の政策に疑問をもつ知恵さえ与えられていなかった。しかし今は違います。誰もが自分の考えを主張できるし、選挙権もあり、集会デモなどで意思表示もできるのです。

昨年、ブッシュが世界の良識を無視して大義のないイラク攻撃を開始した三月二十日、今年は、国際共同行動が予定されています。

有事関連七法案阻止とともに平和の意思の輪を大きく広げて成功させよう。

(倉)

顕彰碑

北海道旭川市
不屈のプロレタリア詩人

今野大力 文学碑



旭川市の中心部に市民の憩の場として親しまれる常盤公園(とぎわ)があります。十六ヘクタールの広い公園の北側、市立図書館や青少年科学館など公共施設をバックにして、今野大力文学碑があります。碑は大力没後五十周年を記念して、一九八五年に日本共産党と市民各層による今野大力文学碑をつくる会によって作られました。碑にはつぎの詩が彫られています。詩人が時代の先駆をした／詩人が郷土を眞實に生かした／そんな言葉が／私の耳に流れては来ないかしら／そんな言葉が／地

球のどこかで語られる時／私のからだは／墓場の火玉となって消えるだらう／一九二四年作「やるせなさ」より

「グロバルな詩、大力の生涯を予見したような詩」(故佐藤喜一氏)と評されています。

大力は一九〇四年宮城県生まれ、旭川郵便局に勤め文学活動を始めました。二九年上京し日本プロレタリア作家同盟に加盟、『戦旗』や『働く人』の編集に携わります。

三二年検挙、拷問によって重体翌年病床の中で、野呂栄太郎と宮本顕治の推薦で日本共産党に入党。しかし、三五年六月十九日、三歳の短い生涯を閉じました。

大力の主な作品は『今野大力作品集』(新日本出版社)に収められ、遺稿ノートなどは碑の傍の市立図書館で見ることが出来ます。今年大力生誕百年です。同盟道北支部では『もっと知りたい今野大力』(八百円)を発行しました。(同盟北海道本部・宮田汎)

戦前の日本共産党と民主的勢力への最大規模の弾圧事件。

一九二八年三月十五日早晩、全国いつせいに警察の襲撃がおこなわれ、検挙者は千六百名(起訴約五百)にものぼった。

同年二月の普通選挙法による初の総選挙に、非合法の日本共産党は労働農民党から十一名の候補者を立て、「赤旗」の発刊、「労働者農民の政府樹立」など大衆に公然とよびかけた。労働党は約十九万票を獲得し山本宣治ら二名当選。無産政党は総計約五十万票を得た。これに驚愕した田中義一内閣は極秘裡に準備し、この暴挙に出たもので、弾圧は苛酷、特高による拷問は凄惨をきわめた。小林多喜二は『一九二八年三月十五日』にこの暴圧の状況を怒りをこめてリアルに描いた。事件の記事解禁の四月十日には、労働農民党、日本労働組合評議会、無産青年同盟は治安警察法で解散させられた。さらに内閣は治安維持法の「団体ヲ変革スルコトヲ目的」とする結社の組織者指導者への極刑等の大改

時の焦点

「3・15=4・16事件」

悪案を提出、審議未了となるや緊急勅令で強行した。勅令事後承認案に唯一人断固として反対してたたかった山本宣治代議士は予算委員会では非道な拷問の実態を暴露した。二九年三月五日夜、山宣は右翼暴漢に刺殺された。

しかし、こうした大弾圧にも屈せず、共産党等は体制を立て直して活動をつよめた。二八年秋の昭和天皇即位式警備を名目に全国的に配備し、情報収集・連絡体制を強化した特高警察は、二九年四月十六日とその後ひきつづき大規模な弾圧を強行し、約千名を検挙した。

この弾圧で市川正一ら主要幹部が逮捕され、党と民主勢力は重大な打撃を受けたが、不屈のたたかいは続けられ、日本共産党の眞の姿を国民の前に明らかにするための公判闘争も組織された。

この戦前の大弾圧事件の歴史的教訓を現代にひきつづぐため、戦後これを記念する行事が続けられてきた。現在の重大な情勢下、山宣没後七五周年、野呂没後七〇周年の今年、この取組みの意義はとりわけ大きいといえよう。

の組織者指導者への極刑等の大改

抵抗の群像

不屈に一筋の道を歩んだ

五味宣雄さん



富樫秀雄

(青森県本部事務局長)

五味宣雄さん。一九〇九年東京に生まれ、一九八六年青森で病没七七歳。五味さんは戦前、東京で全協の日本一般で闘った。戦後、青森県で労働運動、日本共産党の再建活動に参加する。五味さんは全協で活動することになったのは「自分もなにかしなければ」という正義感から大学時代の先生に相談し、野呂栄太郎が参加していた産業労働調査所の風早八十二を紹介され訪ねたことから始まる。今年には野呂栄太郎没後七〇年。

五味さんは立花論文に「内務省警保局の資料や、特高月報をたよりに誹謗されたのではたまらない」と書いています。しかし「犬は吠えても歴史は進む」。憲法第九七条は「この憲法が日本国民に保証する基本的権利は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」と謳っている。自由獲得のために誰が努力したのか。日本では治安維持法の弾圧に屈せず自由獲得のため命がけでたたかいつづけた日本共産党や、この党と力を合わせて闘った有名、無名の方々こそ第一にあげなければならぬ。こうした闘いがいまの日本国憲法を生み出したのである。

五味さんが逮捕されたのは一九三三年一月、全協の会議が特高に襲われたのだ。さっそく拷問がはじまる。小林多喜二の『一九二八年三月十五日』を思わせる。「日本一般係の主任が玉川警部補で、撲り役の方は高橋という津軽出身の巡查部長だ。『国賊!』とか『殺してやる』とかどなりつけながら撲りつける。玉川の方は『そら、もう少し、もう少し』と気合をかけている。…そのうちに竹刀が折れてしまったので、なかの竹で殴った。おかげで僕の股からは、竹の折れたのが一杯ささって赤紫色にはれあがった。…特高の某は考えこんだりしていた。『そりゃ、僕だつて時々これでいいかって考えることもある。だが結局これが国のためなんだ』といつてはまた撲る」。五味さんは治安維持法と特高の野蛮さと無法ぶりを「一番違法行為をやっているのは、今も昔も警察だ。天皇制下の法律だつて拷問はできないことになっている。徳川時代はあったが、その代わりさし渡何分、長さ何尺のムチでいくつ叩くという規定があった」と告発する。「…監房に戻つてくると同房のゴソ泥やヨタ者が

『あつ、ヒテエヤキだ』と助けてくれて、汚い爪で竹の折れを一本一本抜いてくれる。汚い手拭いで冷やしてくる」。拷問がつづく。…こんどは吊るされた。又、道場から竹刀もつて来て、撲ってきた。一九三三年、五味さんはついに日本共産党へ入党した。「…闘争経歴を出せという。俺も入党できる、うれしかった。一人でニヤニヤして歩いた」という。その後モ逮捕、拷問、投獄が繰り返される。「(立花がいう)『戦前の共産党の歴史はそう輝かしいものではなかった』どころか、戦前の党員は労働者からは『救いの神』のように信頼されていた。(共産党のことを)オヤジという隠語は労働者仲間がつけたもの」だという。

五味さんの妻が現国賠同盟青森県本部会長の迪子さんである。妻の迪子は帝国生命の分会を再建し出てきた。…当時はまだ同志の一人だというだけで勇敢な娘さんだった」という思い出を書いてい

る。五味迪子さんも治安維持法で投獄されたり、終戦まで特高がついてまわった。

終戦の知らせに万歳した。二人で戦前、戦後を不屈に一筋の道を歩みつづけた。いま子どもたち、孫たちが五味さんの志を引き継ぎ活動をつづけている。

同盟歌壇

榎田のぼる選

京都府 須田 稔

わが国を守るアメリカなりと総理は言う基地米兵の犯罪も裁けず憲法九条こそ愛国の誓なり反戦を非国民と罵るかまた

評 前歌、何回も口ずさんでいると破調もなじむ。後歌原作「反戦を非国民と再び罵るか憲法九条こそ愛国の誓いなるに」

静岡県 江川 佐一

わが生きる指針となれる「赤旗」を妻子とともに一部増やせりきつぱりとわが胸のうち今は言うイラク支援に軍服などいらぬ

評 生きる指針であるからこそ、「赤旗」一部の拡大にも喜びがわく。後歌の原作一句「すつぱり」三句「あらわしぬ」。

千葉県 行木 権平

咲き初めし菜の花束を抱えつつ姉の見舞いなり春たつ朝をパチンコ屋、右翼の街宣にはあらずいまイラクへ向う軍艦マーチ

評 第一首、しみじみとした春のやさしさに満ちている。第二首目原作の「街宣にはあらず」の下へ「いま」のみを補強。

東京都 若林 義文

中曽根の勲一等より価値あらん反戦唱え六十年経つ氷雨にも山の梢は芽吹きたり吾が反戦の歴史を思う

評 反戦一途の六十年への誇りを歌っている。後歌の原作結句「春きつとくる」を改作。この思いこそ上句にすでに表現。

静岡県 志良以 孝

激し言う「派兵の大義」いつの世も好戦政治家の三百代言幾千万の死重ね購いし戦後史を否定しついにイラク出兵

評 第一首目の下句、作者激さず「三百代言」といった所がよい。後歌原作「購つ」また「否定するイラク出兵」を改作。

俳句

憲法前文たかく掲げ大根洗つ

和歌山県 山本長生

映画

山田洋次監督「隠し剣 鬼の爪」

——藤沢周平の世界に挑む——

正月と盆に、日本の故郷で出逢う「寅さん」。日本列島の風情と人情にふれ、私たちの心を笑いと涙でとらえた山田洋次監督が、またまた藤沢周平の世界に挑みま

す。「隠し剣 鬼の爪」の時代劇。庄内平野のある藩を舞台に、はじめくりひろげた時代劇「たそ

がれ清兵衛」は下級武士の誠実な生きざまと悲哀を映し出して大きな反響を呼び、数々の賞とアカデミー賞外国語映画部門の候補にも選ばれました。出演の真田広之、宮澤りえも、作品と山田監督の思

いを「俳優としての新たな成長への転機とも」と、もらっています。それから二年、もう一度時代劇をととの山田監督の願いが、「隠し

剣 鬼の爪」への取り組みとして実現しました。舞台は同じく庄内の海坂(うなさか)藩、そこに生

起する下級武士と愛と苦悩を、大きく変つていく幕末動乱の時代を背景に、激動の渦中に生きた秘剣

にまつわる若者のなかに。いまに共通する群像と共感を」と期待を

述べています。脚本は、朝間義隆とのコンビ。

山田監督はまた、「すてきな俳優さんたちによって、その青春に限りない愛情と慈しみを抱きつつ物語りを運びたい」とも……。そのスタッフに、「息子」で好演した永瀬正敏、おなじみの吉岡秀隆、松たか子、小澤征悦らの若手に、田中邦衛、倍賞千恵子、緒形拳らのベテランが脇をかためるのも、作品の息づかいがつつたわつてきま

す。

この二月、京都撮影所を振り出しに鶴岡、角館と庄内平野にメガホンをすえて、夏の完成へ。秋の公開が待たれます。

ひと言 山田洋次監督は「幸福の黄色いハンカチ」を自衛隊派兵の見送りに使われていることに、「とても気になる」とし、まるでその昔、「日の丸」の旗を振つて見送つたのと同じになるのでは、とのべました。

(石坂真人・中央本部)

第8回国連ツアー日程

月日	Aコース	Bコース	Cコース
8月3日(火)	東京成田空港発		
4日(水)	ジュネーヴ 国連要請行動		
5日(木)	〃	〃	
6日(金)	夜「ジャパン・デー」		
7日(土)	ジュネーヴ発 ハーグ泊	ジュネーヴ発 クラフク泊	休日 自由行動
8日(日)	ハーグ泊	クラフク泊	休日 自由行動
9日(月)	アムステルダム泊	ワルシャワ泊	国連要請行動
10日(火)	アムステルダム泊	ワルシャワ泊	〃 ↓ 〃
11日(水)	アムステルダム泊	ワルシャワ泊	〃 ↓ 〃
12日(木)	アムステルダム発	ワルシャワ泊	ジュネーヴ発
13日(金)	成田着		

お申し込み、資料請求は
 富士国際旅行社営業部 小野寺研一
 TEL 03-3357-3377
 FAX 03-3357-3317
 (旅行料金は航空運賃の関係で2月中旬に確定します)

八月三日(火)〜八月十三日(金)
「第8回国連ツアー」ジュネーヴの三日間
 八月三日午前成田発、乗継ぎ一回でジュネーヴに着くのは午後七時頃、夏のヨーロッパはまだ明るい夕方です。
 次の朝国連の事務所までNGO通
 行証の手続きとして国連内見学のあとは他NGOへ呼びかけての国連内対話説明会(フリーフィンク)を持ちます。毎年のこの催しで、私たちは「治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を政府に要求して活動している国賠同盟」の活動を国際的に広めています。
 五日、六日は人権小委員会の第二週目で、NGOの発言も多く出

は国連のそば。
 里焼ものもあるアリアーナ美術館のバラマが広がります。古伊万晴台からはアルプスやジュラ山脈のパノラマが広がります。古伊万は国連のそば。
 会場ジョンノックスの近くの見
 七日夜は恒例の「ジャパン・デー」。各国の友好NGOを招いての文化交流、今年は三回目、ツアー参加の皆さんの大活躍を期待したいところ。
 訪問もスイスを知るいい機会です。

事務局日誌

- 1月30日 不屈二月号割り付け
 - 2月2日 事務局打合せ
 - 2月5日 女性パンフ発送作業 / 防衛庁包囲ピースキャンダルナイトに参加
 - 2月9日 都本部女性部「春を呼ぶつどい」全労連会館(65人)
 - 2月12日 不屈二月号発送作業
 - 2月16日 事務局打合せ
 - 2月17日 不屈三月号企画編集
 - 2月18日 解放運動無名戦士合葬追悼会実行委員会(斎藤邦雄)
 - 2月19日 第16回杉並中野渋谷多喜二祭に参加
 - 2月22日 中央区戦争展で斎藤事務局長が講演
 - 2月26日 国際人権活動日本委員会代表者会議(斎藤久枝他1)
- 寄贈図書
 『生きがい論が死にがい論か』
 イラク反戦運動の源泉を考え
 る 葦沢忠雄著
- 訂正 不屈二月号付録「署名活動推進ニュース」四頁の「国会請願署名目標と実績」表の最下段記載、2月31日現在調は、12月31日調の誤り。

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌



『治安維持法と現代』 2004年春季号 4月発売予定

【主な内容】いま憲法「改正」の必要はない(奥平康弘氏)、「国民保護法」とは国民統制動員法(内藤功氏)の他、教育基本法に光を当てるとともに「つくる会」の策動を告発する論考を掲載。戦前の治安維持法弾圧では野呂栄太郎、西田信春、上甲米太郎を取上げる。戦争する国に突っ走るなか「回想・太平洋戦争」を特集。その他貴重な論文、文芸などを多彩収録。

A 5版154頁、定価1000円 千270円。同盟各県本部でお求め下さい。
 制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟